

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,317
		2号炉	4,313
		3号炉	4,277

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	947	800 以上
		2号炉	4月30日	946	
		3号炉	4月30日	973	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	170	
		3号炉	4月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	6	100 以下
		2号炉	4月30日	10	
		3号炉	4月30日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	4月24日	5月24日	0.44 m ³ N/h	85.7 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					14 ppm		
塩化水素	1回/2月					0.00067 g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					20 mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					12 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月	81 ppm	50 µg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	4月25日	5月24日	0.46 m ³ N/h	81.7 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					15 ppm		
塩化水素	1回/2月					0.00069 g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					39 mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					24 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月	76 ppm	50 µg/m ³					
全水銀	1回/4月	2.0 µg/m ³	50 µg/m ³					

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,018
		2号炉	4,587
		3号炉	2,786

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月28日	943	800 以上
		2号炉	5月31日	950	
		3号炉	5月31日	957	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月28日	170	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	170	
		3号炉	5月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月28日	8	100 以下
		2号炉	5月31日	10	
		3号炉	5月31日	5	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	5月9日	6月5日	0.43 m ³ N/h	85.2 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					13.0 ppm		
塩化水素	1回/2月					0.00066 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					28 mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					17 ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	76 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,454
		3号炉	4,452

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	6月30日	944	
		3号炉	6月30日	965	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	170	
		3号炉	6月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	6月30日	10	
		3号炉	6月30日	6	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	6月6日	6月28日	0.3 m ³ N/h	81.5 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					10 ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					0.00067 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					20 mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					12 ppm	50 µg/m ³
						66 ppm	180 ppm
						µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
		可燃ごみ	1号炉	1,275
	2号炉		3,306	
	3号炉		4,591	

項目	データ		測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
	項目	データ				
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	928	800 以上	
		2号炉	7月22日	941		
		3号炉	7月31日	955		
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	170	概ね 200 以下	
		2号炉	7月22日	170		
		3号炉	7月31日	170		
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	9	100 以下	
		2号炉	7月22日	9		
		3号炉	7月31日	5		

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
		冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉			稼働時常時機械除去	
3号炉			稼働時常時機械除去	
排ガス 処理設備		1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ		採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
	測定回数	データ					
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年		1号炉	7月10日	9月5日	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			0.0000 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉			0.0000 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

項目	データ		採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
	測定回数	データ							
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (サブリング口)	1号炉		m ³ N/h	— m ³ N/h		
ばいじん	1回/2月					ppm			
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm	
						µg/m ³		50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (サブリング口)	2号炉	7月8日	8月6日	0.13 m ³ N/h	84.5 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月						4.5 ppm		
塩化水素	1回/2月						0.00075 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月						15 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月						9.2 ppm		180 ppm
							63 ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (サブリング口)	3号炉	7月9日	8月6日	0.28 m ³ N/h	81.7 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月						9.5 ppm		
塩化水素	1回/2月						0.00068 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月						39 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月						24 ppm		180 ppm
							64 ppm		180 ppm
			0.8 µg/m ³	50 µg/m ³					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

※6 1号炉は基幹改良工事に伴い7月28日より停止しており、稼働後 (令和5年2月予定) に測定を実施予定です。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,592
		2号炉	—
3号炉		4,591	

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	933	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	8月31日	977	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	8月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	9	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	8月31日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	8月7日	9月27日	0.000000 ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	8月8日	9月5日	0.46 m ³ N/h	80.8 m ³ N/h	
	16 ppm							
ばいじん	1回/2月					0.00062 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					23 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					14 ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				0.47 µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
	ppm							
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	8月9日	9月5日	0.20 m ³ N/h	80.7 m ³ N/h	
	6.9 ppm							
ばいじん	1回/2月					0.00068 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					27 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					16.0 ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³		

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,450
		2号炉	0
		3号炉	4,450

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	930	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	9月30日	971	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	9月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	5	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	9月30日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (チンブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング口)	1号炉	9月10日	10月4日	0.38 m ³ N/h	80.8 m ³ N/h	
	13 ppm							
ばいじん	1回/2月					0.00066 g/m ³ N		200 mg/m ³ N
塩化水素	1回/2月					29 mg/m ³ N		
	18 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	66 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	/	/	/	/	/	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
	ppm							
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N		200 mg/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N		
	ppm							
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	/	/	/	/	/	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング口)	3号炉	9月9日	10月4日	0.23 m ³ N/h	81.5 m ³ N/h	
	7.8 ppm							
ばいじん	1回/2月					0.0006 g/m ³ N		200 mg/m ³ N
塩化水素	1回/2月					24 mg/m ³ N		
	14 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	77 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	/	/	/	/	/	50 µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,609
		2号炉	—
		3号炉	348

データ	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	942	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月2日	976	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月2日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	5	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	10月2日	6	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉 2号炉 3号炉		ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	10月3日	10月31日	0.36 m ³ N/h	81.5 m ³ N/h		
ばいじん	12 ppm								
塩化水素	0.00076 g/m ³ N					200 mg/m ³ N			
窒素酸化物	25 mg/m ³ N								
全水銀	15 ppm								
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉			73 ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月					μg/m ³		50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月					m ³ N/h			— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm			
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N			
窒素酸化物	1回/2月	mg/m ³ N							
全水銀	1回/4月	ppm							
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉			ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月					μg/m ³		50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月					m ³ N/h			— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm			
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N			
窒素酸化物	1回/2月	mg/m ³ N							
全水銀	1回/4月	ppm							

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,464
		2号炉	—
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	961	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	7	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	休炉	—	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³		50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,351
		2号炉	0
		3号炉	3,915

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月24日	962	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	12月31日	977	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月24日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	12月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月24日	7	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	12月31日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	12月5日	12月27日	0.27 m ³ N/h	81.3 m ³ N/h
	8.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					0.00071 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					23 mg/m ³ N	
	14 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					69 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	3.1 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³				

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	—
		3号炉	726

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	1月5日	985	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	1月5日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	1月5日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
						ppm		
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³		50 μg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉		/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月			ppm				
塩化水素	1回/2月			g/m ³ N			0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月			mg/m ³ N				
全水銀	1回/4月			ppm			200 mg/m ³ N	
				ppm				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³		50 μg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉		/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月			ppm				
塩化水素	1回/2月			g/m ³ N			0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月			mg/m ³ N				
全水銀	1回/4月			ppm			200 mg/m ³ N	
				ppm				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³		50 μg/m ³				

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,056
		2号炉	1,654
		3号炉	2,043

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	961	800 以上
		2号炉	2月28日	979	
		3号炉	2月28日	999	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	170	概ね 200 以下
		2号炉	2月28日	170	
		3号炉	2月28日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	7	100 以下
		2号炉	2月28日	9	
		3号炉	2月28日	5	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。